

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹

第2814例会 2024/03/25

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2024/04/08

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史

本日はインターアクトクラブについて卓話をいただくのですが、インターアクトとは学校や地域でのボランティアを通じた奉仕活動や、それを通じたリーダー

シップの育成、また、海外のインターアクト会員との国際交流を通じて国際感覚を養い、異文化について学び、国際親善に貢献することなど、楽しみながら世界中に友だちをつくることを目的としています。近年その対象年齢が12歳に下がり、中学生も活動可能となったことから、埼玉栄高校さんに、中学で吹奏楽部でなくインターアクト活動のみのクラブを創っていただけないかお願いしたところ、小野先生が顧問をされている「総合探求部」がまさに最適なクラブではないか、とご紹介いただきました。本日はその活動内容をぜひ会員の皆さんに知っていただきたく卓話をお願いした次第です。当クラブにも青山学院大学出身の方がいらっしゃいますが、日本のロータリーの父と呼ばれる東京ロータリークラブ初代会長の米山梅吉氏は、青山学院の前身である東京英和学校で英語を学んだのちアメリカに留学した経歴があり、その縁で青山学院の初等部を創立し初代校長となりました。そして奥さんが付属の幼稚園の園長となり、私財を投げ打って夫婦で児童教育に心血を注いだそうです。その根底には、真の教育は根底から始めるのが大切、つまり少しでも早いところからの教育が大切である、という考えがあったそうです。子育ては「つ」のつく歳まで、などと昔から言われますが、要は9歳までに覚えたこと、教わったことが人格形成に大きく影響するということだと思います。インターアクトの活動も、「つ」のつく歳

は無理ですが、中学など少しでも早い年齢から始めることが、青少年の健全育成にも大変役立つのではないかと思います。今日は埼玉栄の生徒さんたちがどのような活動をしているのかを知り、今後当クラブとインターアクトの皆さんでどのような奉仕活動をしていけるのかそんな可能性を模索する機会にいただければと思います。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

井田 人志 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 埼玉栄中学・高等学校 総合探求部 顧問 小野 孝寛様
- オブザーバー/近畿日本ツーリスト株式会社 埼玉支店 支店長 亀山 貴聡様
- 2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希さん (ご紹介:副会長 染谷 義一)

幹事報告



幹事 横溝 一樹

- 1.次年度の年度計画書記載事項につきまして、確認のご案内を封筒にてボックス配布いたしました。各自ご確認の上、変更点がございましたら事務局までお知らせ下さい。
- 2.4月18日の第3第4グループ合同チャリティゴルフコンペに参加いただける方を引き続き募集しております。当日受付のお願いもございましたので後ほどご案内させていただきます。
- 3.次回例会は4月2日(火)、観桜夜間例会となりますのでお願いいたします。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com

HP: http://rc-omiya-west.com/



退会のご挨拶

■是永 泰宏会員（損害保険ジャパン株式会社）
3年間ありがとうございました。茨城県のつくば市に転勤になりました。以前購入した自宅マンションがあるので単身赴任も終わります。今後は後任の松下がお世話になります。ありがとうございました。



■萩原 直樹会員（近畿日本ツーリスト株式会社 埼玉支店）

2年半あっという間でした。コロナ禍では、皆さんの顔もわからない状態でしたが、去年2回、一緒に旅行ができてよかったです。後任の亀山も今後よろしくお願いたします。



委員長報告、派遣役員報告

■60周年特別委員会 委員長
伊田 雄二郎

60周年記念誌ができ上がり、本日皆様にお配りすることができました。ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。メディア工房 平野会員、ご尽力ありがとうございます。

複数部欲しいという方がいましたら、事務局までお知らせください。また、掲載されている名簿は2023年6月末日現在のものとなりますのでご了承ください。

■管理運営担当理事 大楽 剛

4/2（火）は観桜会です。

第一部は15:30~17:30、大宮公園で行います。強風など悪天候の場合、川井 親睦委員長か大楽の携帯まで問い合わせください。寒いかと思いますので暖かくしてきてください。

スーツでなくてもOKです。酒・食事はご持参ください。

第二部よりご参加の方は、17:30に大宮駅東口ロータリーから送迎バスが出ますのでご利用ください。



出席報告

■出席委員会 委員長
新城 盛辛



スマイル報告

■副SAA
松本 有祐



卓話

埼玉栄中学・高等学校
総合探求部 顧問
小野 孝寛先生

埼玉栄高校総合探究部



この度は、このような華やかな会にお招きいただきありがとうございます。今年度からインターアクトの活動に関わらせていただき、先の訪韓プログラムでは、4名の部員がお世話になっております。

さて、初めに埼玉栄高校について簡単に紹介させていただき、次に総合探究部を立ち上げた経緯、そして現在の活動の軸である子ども食堂と地域交流イベントについて説明させていただきます。最後に今後取り組みたい活動についてお話させていただきます。

埼玉栄高校について

学校法人佐藤栄学園は埼玉県下に4つの高校、2つの中学、1つの大学と小学校があり、広く教育活動を展開しております。場所は川越線西大宮駅から徒歩数分の場所にあり、アクセスの良さから中高ともに多くの受験生を集めております。

総合探究部を立ち上げた経緯

4年前に埼玉栄中学校に赴任したタイミングで、社会貢献活動を目的とした部活として「総合探究部」を立ち上げました。

2. 総合探究部の立ち上げについて

プレゼンテーションコンテストへの参加



身近な社会課題

と向き合うきっかけ

しかし、コロナ禍真っ只中、当初予定していた活動はできず、部員3名を抱えたまま時間だけが過ぎました。その中で、たまたま見つけた中学生向けのプレゼンテーションコンテストに参加したところ、入賞することができました。

これにより校内での知名度が上がり部員が集まりました。そしてコンテストに向けたテーマ探しの中で、子ども食堂の活動に出会いました。

3. 子ども食堂と地域交流活動について



一般社団法人子ども食堂ネットワークと連携を取り、2022年12月に“西大宮子ども食堂SAKAE”を立ち上げ、現在まで5度の実施をしてまいりました。そして、その活動の拡大版として、地域の企業や行政を巻き込んだハロウィンのイベントを企画し、100家庭、300名と13の企業の協力のもと大盛況となりました。テレビ埼玉にも活動を取り上げていただきました。



今後の取り組みについて
ローカルとグローバルの二軸で活動を広げていきたいと考えています。



・まず、ローカルの活動について、今ある活動を充実させるために高校生による防災教室の実施を考えています。日本に住む以上防災について考え続けなくてはなりません。高校生を地域の防災のリーダーに据えて防災についての考えを地域で共有することが地域の防災力を高めます。そのために防災士と食育防災アドバイザーという資格の取得を進めていきたいと思ひます。

・もう一つのグローバルについて、こちらはまず本庄市にある放置された竹林の再利用のプロジェクトに早稲田大学のボランティアサークルとともに取り組んでいきます。その中で、竹炭による土壌改良に注目しております。この技術をもってカンボジアなどの途上国の支援に取り組みたいと考えております。

大きな目標に向かって総合探究部は今後も活動して参ります。同じ社会奉仕を掲げる団体として、手と手を取り合って進んでいけたらと思ひます。今後どうぞよろしくお願ひします。

ご清聴ありがとうございました。

